

9月9日 県中部地区郵便局長会から町社協へ  
災害ボランティアセンター用の資材が寄贈

9月9日、県中部地区郵便局長会から町社会福祉協議会へ、災害時のボランティア活動等に使用する資材が寄贈されました。

両者は、「災害等のボランティア確保の連携・協力に関する協定」を結んでおり、本年8月の豪雨災害時には、資材の寄贈のほかに、町社会福祉協議会が開設した災害ボランティアセンターへ県中部地区郵便局長会から延べ54人を派遣し、現地での復旧に向けた支援活動を実施しました。

県中部地区郵便局長会の岡部正彦会長（秋田牛島東郵便局長）は「今回の豪雨災害発生時には、資材の寄贈やボランティアの動員などにより、微力ながらも復旧へ向けのお手伝いをさせていただきました。今後も『地域と共に』を信条とし、活動を行っていきたい」とお話ししていました。

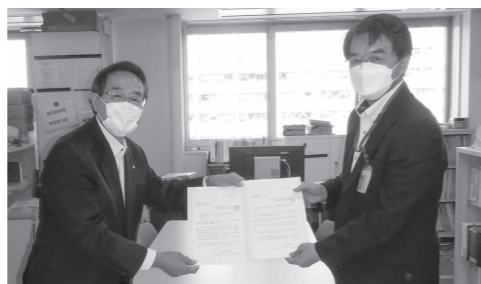


県中部地区郵便局長会の岡部正彦会長から、佐藤満町社会福祉協議会会長へ、災害ボランティア活動用資材の目録が手渡されました。

9月12日 被災箇所の早期復旧へ向け県へ緊急要望

9月12日、本年8月の豪雨災害により被災した箇所の早期復旧へ向け、渡邊町長らが県庁で緊急要望活動を実施しました。

当日は、渡邊町長と町建設課職員が県地域振興局建設部を訪れ、近藤雅部長へ内川浅見内のがけ崩れ箇所の復旧や富津内川、内川川の浚渫と雑木伐採などを要望。渡邊町長は「今回の豪雨によるがけ崩れでは、幸いにも人命と住家には被害がなかったものの、崩落した土砂の撤去に苦慮している。地域住民の生命を守るとともに、地区の安全確保のため、県には早急な対応をお願いしたい」と、要望書を渡しました。



本年8月の豪雨災害による被災箇所の早期復旧と強靱化に向け、県地域振興局近藤建設部長へ、要望書を手渡した渡邊町長。

9月14日 豪雨災害の復旧へ向け千代田区から支援

9月14日、本町と姉妹提携を結ぶ東京都千代田区から、本年8月に発生した豪雨災害の復旧に向けた見舞金100万円が贈呈されました。

贈呈式は町役場で行い、千代田区地域振興部コミュニティ総務課の小玉伸一課長から渡邊町長へ目録が手渡されました。小玉課長は「連日報道される大雨による被害に心を痛めていました。心ばかりではありますが、町の復旧に役立ててください」と、渡邊町長は「幸いにも人的被害はなかったが、住宅の浸水など大きな被害を受けた。34年にわたる千代田区との絆に感謝したい」と、言葉を交わしました。



千代田区コミュニティ総務課の小玉課長から渡邊町長へ、災害復旧に向けた見舞金の目録が手渡されました。

みんなで作る夏の思い出  
もりやまこども園まつり

8月28日、「もりやまこども園まつり」が行われました。こども園まつりは、新型コロナウイルス感染症対策をしたうえで実施。子どもたちは、園内で縁日風のおまつりを楽しみました。



5歳児の子どもたちがお店屋さんになり、「おもちゃすくい」や「くじ引き」、「お面・キーホルダー屋さん」など、いろいろなお店で盛り上がりました。



(注) 浚渫：洪水の防止のため、川底を掘削して流下能力を高め、増水時の水位を低下させること。



集落支援員  
じゅっちゃんの  
ALOHA! 五城目町。

田んぼ2年目、  
わが家の「ほによ」



五城目町の皆様、Alo-ha! 集落支援員の八嶋美恵子です。黄金色に輝きながら並んで頭を垂れる稲穂が、ほんとうに美しい時期を迎えています。

今月は、集落支援員活動で最も力を入れている「コミュニティ生活圏形成事業—カフェ部会 (Cafe Chotto) ちゃっこ」の最新情報について共有します。この事業は馬場目をモデル地区として約3年間毎月小さなイベントを実施、継続することで「日々の楽しみ」や「つながり」を育んできました。

8月は、メンバーの「秋田での戦争の話を一度ちゃんと聞いてみたい」の声に背中を押され、太平洋戦争日本最後の空襲地・土崎の「土崎被爆市民会議」に足を運びいただき、ドキュメンタリー映像を交えて当時の体験談を伺いました。

9月には、大きな戦争の話だけではなく「同じ人間の暮らし」があったことを感じてみよう」と、広島・呉の戦争時の1人の女性の暮らしを描いた『この世界の片隅に』という映画の鑑賞会を行いました。

思いがけずふた月に渡り戦争のトピックを扱うことになり

ましたが、住民主体の集まりの場で、小学校低学年～80代の多様な価値観、経験を持つ同士が、思っていることを素直に語り、耳を傾け合う時間はとても貴重な時間なのだ……と実感しました。

10月は、ついに馬場目地区を飛び出し「Cafe Chotto がっこう!」と称して、新築の五城目小・階段教室を会場に「世界を巡る音楽家が五城目にやってくる!～ヴァイオリンデュオコンサート～」を実施します(11月に掲載)。

初の試みですが、「騒いでも、歌っても大丈夫!一緒に楽しもう!」というコンセプトを大切にされているご夫妻による演奏会なので、小さなお子さまから大人まで奮ってご参加ください。

なお、定員が60人のため、ご参加には以下よりご予約をお願いいたします。

- 町まちづくり課 (☎852・5361)
- 集落支援員 八嶋 (✉judy44mieko@gmail.com)



五城目高校のわだいを定期的にお届けします!



松樹院での座禅の様子



ネコバリ岩での一コマ

校外学習(総合的な探究の時間)を体験して

～地元の新たな発見～

新型コロナウイルス感染症が収まっていない状況で校外学習を実施できたことに、先生たちに感謝しています。

私は生まれて初めて座禅を経験しました。何も考えないのはとても難しいことで、特に姿勢を注意されることが多かったです。座禅をする前の礼儀や手の組み方が難しく、また、座禅はとても長く感じ、2回も行いました。

ネコバリ岩は、恥ずかしながら五城目町民にもかかわらず今まで行ったことがありませんでした。そばで見てみ

るととても大きく迫力があり、岩から木が生えているのを見て不思議だとも感じました。

友愛館には、昔お世話になった先生がいました。釣りキチ三平の資料館などを見せていただき、窓越しに風景の見える体育館のステージも感動しました。田んぼアートも普段見ることが少ない経験でしたので、今回の校外学習はとても興味深かったです。

(1年 佐藤 椋太)

10月の主な行事予定

5日(水) クラス対抗 (7日まで)	22日(土) 弓道全県新人 (24日まで)
15日(土) 80周年記念式典 (10:00～) 記念講演 (11:05～)	28日(金) バスケットボールウインターカップ県予選 (30日まで)
19日(水) 防災講話・避難訓練	

五城目高校ホームページ: <http://www.gojome-h.akita-pref.ed.jp/>